



<特集>

平成19年度まちづくり月間 ～ 国土交通大臣表彰受賞者の紹介 ～

第25回まちづくり月間中央行事が、去る6月15日（金）に都市センターホテル「コスモスホール」（東京都千代田区）にて開催されました。

国土交通省では、住民の積極的な参画のもとに創意と工夫を生かした豊かでうるおいのあるまちづくりを推進するため、昭和58年度から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくり功労者等に対する国土交通大臣表彰をはじめとする様々な啓発活動を実施しております。

このたび、「平成19年度まちづくり月間中央行事」において、「まちづくり功労者」として全国42団体・個人が表彰され、茨城県では、まちづ

くり功績のあった団体の『ぶっぺいの会』が国土交通大臣表彰を受賞いたしました。

おめでとうございます。



(受賞した「ぶっぺいの会」の代表者)
=都市センターホテル

(国土交通大臣表彰の趣旨)

魅力あるまちづくりの推進につとめ、著しい功績のあった個人又は団体（地方公共団体を含む）を「まちづくり功労者」等として、国土交通大臣が表彰するものです



(受賞者の皆さん)

【表彰団体の紹介】

○ぶっぺいの会（茨城県筑西市）

ぶっぺいの会は、1995年に合併前の旧明野町で、住まいやまちづくりを検討する地域住宅計画（HOPE計画）の策定を目的に組織された住民懇談会を母体に、翌年に同会の前身となるグループが結成されました。

住まいづくりやまちづくりに関する視察会、町中散策コースの検討、良い住まいや景観を対象に「ぶっぺい賞」を贈る活動などを展開。2001年



には会則などを決め、正式に会がスタートしました。現在、明野地区を中心に、その周辺に居住または勤務する元教員、建築士、農業従事者、主婦などで構成された21名が参加しています。

2003年には、里山の雑木林を保全・活用する目的で会の中に「宮の杜里山づくり部会」を設置、宮山ふるさとふれあい公園（同市宮山）内の里山整備や散策マップの作成、植生調査、子供を交えた自然観察会などを行っています。



(上：「里山整備作業」：枝打ち)
(下：「里山整備作業」：散策路整備)



また、会の名称は、筑波山の西側の地域に昔から流布されている表現で、庭と建物の景観バランスが優れていることを「ぶっぺいがいい」と言うことにちなんだとのことです。

今後も行政と協働して里山整備作業や子供たちとの自然観察会などを行いながら、さらに広範な活動を展開していくこととしています。



(上：子供たちとの自然観察会)
(下：「里山整備作業」：里山入口表示柱の設置)

